

# EHS活動の目標と実績

東京エレクトロングループは、環境および安全・健康に関する基本理念／方針を基に、目標を設定し、活動を行っています。

東京エレクトロンは、環境と安全・健康に関する考え方を明確にするために、1998年に環境に関する基本理念／方針および安全・健康に関する基本理念／方針を制定

しました。これらの理念／方針を基に、グループ全体でEHS活動を推進しています。2003年度の計画と実績および2004年度以降の計画・目標は下表の通りです。

## ■EHS活動目標と2003年度実績

	2003年度活動計画	実施結果	評価	2004年度以降の計画、目標	参照
エコプロダクツ	LCA(ライフサイクルアセスメント)の実施	新規開発装置にて実施	○	継続して実施	P16
	製品の鉛フリーはんだ導入の推進	推進組織を立上げ活動を開始	○	鉛フリーはんだ部品、基板の単体評価を実施開始	P18
	グリーン調達推進	取引先教育を実施	○	TELグループ禁止化学物質の装置含有状況の把握	P19
エコファクトリー	ゼロエミッションの推進	九州地区4事業所で達成、グループ全体でのリサイクル率は93%に上昇	○	残る製造系事業所でのゼロエミッションを2005年度までに達成、全体のリサイクル率を2005年度までに95%以上にする	P20
	エネルギー使用量の削減(省エネ法に基づき、CO <sub>2</sub> 発生量ベースで売り上げ原単位比1%削減)	各地区で、省エネルギー活動を行った結果、昨年度から売り上げ原単位で13%削減	○	さらに省エネルギーを推進し、1997年原単位に近づける	P21
	PRTR対象化学物質の使用量継続把握	対象物質の使用量把握	○	排出先の把握、使用量の削減	P23
労働安全衛生	休業4日以上的人身災害0件、人身事故件数を昨年度比30%削減	休業4日以上的人身事故発生、人身事故は約25%の削減	△	2004年度は同じ目標で再度設定	P24
EHS マネジメントシステム	事務所系事業所での環境活動の実施継続	活動継続中	○	東京エレクトロンデバイスでのISO14001認証取得	P10
	製造系事業所にて労働安全衛生マネジメントシステムの導入	未導入事業所でのリスクアセスメントを推進	○	リスク削減プランの確実な実行と確認	P10
	EHS相互アセスメントシステムの構築	評価担当者を養成し、2事業所において相互アセスメントを実施	○	労働安全だけでなく、環境パフォーマンス、装置EHSに関する項目のアセスメントの実施	P10
	海外オフィスでの活動推進	各地区での活動の把握、一部海外地区での営業担当者向けEHSハンドブック教育実施	○	環境教育の実施検討、未実施地区への展開、教育実施状況のWeb等での把握検討	P25

○目標達成 △目標の80%を達成 ×目標達成度80%以下



東京エレクトロン株式会社  
製造部門担当 執行役員  
中嶋 敏

開発者の能力が、装置の環境・安全性能の決め手の一つであることは明かです。「環境・安全」に配慮しながら材料の選択・設計ができる人材の育成にも力を注いでいきたいと思っています。

### 設計の時点から環境と安全に配慮する。その機運を高めることが課題です。

東京エレクトロングループでは、これまで営業は営業、技術は技術と、それぞれ明確に役割分担をしてきました。しかし、どちらの立場でも、環境負荷や安全についての考え方や知識の共有化を図り、営業と工場のノウハウや知識を総合した活動をするべきです。

当社グループが生産する装置の「環境負荷低減」という観点からは、その内奥に分け入っていくことが大事です。

廃棄物処理やリサイクルなどを念頭に置いて開発を行うことは家電メーカーでは以前から実施されており、当社グループもそのような発想を強く持たなければなりません。そういった機運を盛り上げていくことも、環境安全推進センターの課題と言えます。

今後の課題としては、まず鉛フリーへの対応、そして工場内での装置安全を自分の目でもう一度確実に検証し、確認することが必要になると思います。

### 私のエコライフ

「自宅が農家ですから、休みの日には農作業に励んでいます。」

